



株式会社 タクマ

証券コード：6013

株主通信

第121期  
中間報告書

2024年4月1日から  
2024年9月30日まで

技術を大切に

人を大切に

地球を大切に

# 株主の皆様へ



代表取締役社長

南條博昭

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは、2030年に向けた当社グループのありたい姿として長期ビジョン「Vision2030」を策定し、その達成に向けて取り組んでいます。今年度にスタートした、2024年度から2026年度までの第14次中期経営計画（以下、第14次中計）では、第13次中計の成果と課題を踏まえ、ビジョン実現に向けた成長ストーリーの具現化をめざします。引き続き人材の確保、育成を推進しつつ、特に一般廃棄物処理プラント事業に経営資源を優先的に投入し、第13次中計よりも多くのEPC<sup>(※1)</sup>案件の受注を積み重ね、竣工後のアフターサービスの受注につなげます。これにより、EPC事業とストック型ビジネスの好循環を実現し、第15次中計以降の成長につなげていきます。3か年累計の受注高目標としては、第13次中計期間を大きく上回る6,000億円の達成をめざします。

また、近年のデジタル技術の発展は目覚ましいものがあり、第14次中計ではDX（デジタルトランスフォーメーション）を「攻め」「守り」の両面から推進し、競争力を強化していきます。加えて、研究開発分野では、CCUS<sup>(※2)</sup>をはじめ、脱炭素社会の実現に向けた研究を加速します。社外とのパートナーシップも活用しながら、早期の実用化をめざします。

長期ビジョンの実現に向けては、「株主・投資家」「お客様」「社員」をはじめとするステークホルダーの皆様と真摯に向き合い、コミュニケーションを重ねていくことが不可欠です。お客様や社会とともに、長期的に、持続的に成長していく企業として価値を高め、私たちを応援してくださる株主の皆様、私たちを信頼してくださるお客様、当社グループの企業活動に協力してくださる協力企業の方々や当社グループの役員・従業員など、すべてのステークホルダーの皆様に満足していただけるよう、これからも全力を尽くしていきます。皆様には、日頃の温かいご支援に心より感謝を申し上げますとともに、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※1: Engineering (設計) Procurement (調達) Construction (建設) の略でプラント建設事業のこと  
※2: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storageの略でCO<sub>2</sub>の回収・有効利用・貯留のこと

## CONTENTS

株主の皆様へ	1	事業の概況	7
2024年度(第121期)上半期の業績および今後の取り組み	2	会社概要、グループ会社	9
経営戦略	3	株式の状況	10
トピックス	4		

# 2024年度（第121期）上半期の業績および今後の取り組み

2024年度（第121期）上半期における当社グループの経営成績は、受注高は主に環境・エネルギー（国内）事業の増加により前年同期に比べ892億円増加の1,620億円、売上高はいずれのセグメントも増加し21億円増加の680億円となりました。

損益面においては、主に環境・エネルギー（国内）事業の増益により、前年同期に比べ営業利益は18億円増加の45億円、経常利益は18億円増加の50億円、増益に加え投資有価証券売却益の計上もあり、親会社株主に帰属する中間純利益は21億円増加の41億円となりました。

2024年度（第121期）通期の予想は、受注高は2,300億円、売上高は1,430億円、営業利益が112億円、経常利益が120億円、親会社株主に帰属する当期純利益が88億円と、期初予想通りとしております。

配当につきましては、中間配当金を期初予想通り1株28円とさせていただきます。2024年度期末配当金につきましても28円を予定し、年間配当金は合計56円とさせていただきます予定です。



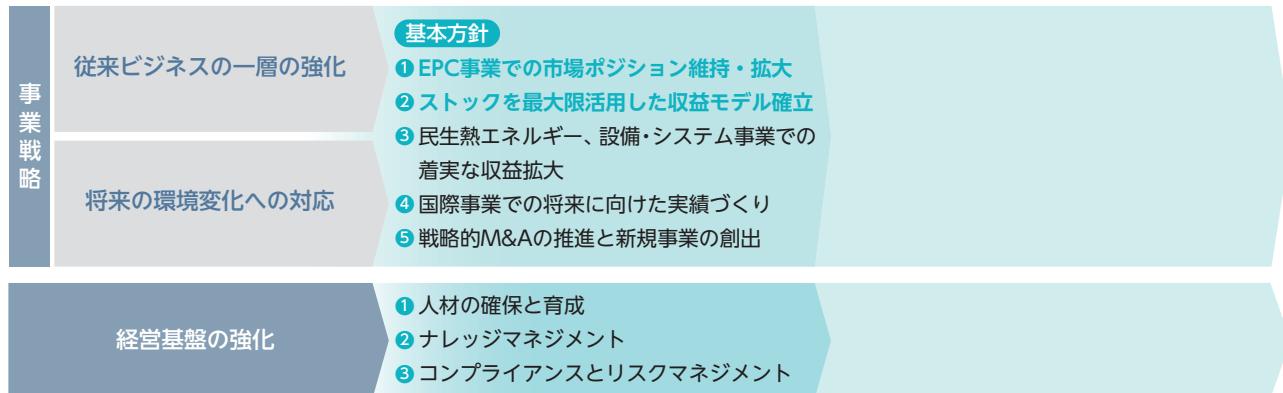
# 経営戦略

## 長期ビジョン「Vision2030」

再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心に、リーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続け、ありたい利益水準として経常利益200億円をめざす。

## 第14次中期経営計画

第14次中期経営計画（2024～2026年度）では、第13次中計で取り組んできた施策を具現化し、第15次中計以降の成果獲得につなげることをテーマとしております。課題解決に向けた施策の策定・実行を進めつつ、一般廃棄物処理プラントの受注（更新、基幹改良）とストックを最大限活用した収益モデルの確立に優先的に経営資源を投入してまいります。



## ごみ処理施設のDBO事業を受注（尼崎市）

～焼却・リサイクル・し尿処理施設を集約、ごみ発電で国内最高水準の発電効率を実現～

当社は、兵庫県尼崎市が発注するごみ処理施設のDBO事業<sup>\*1</sup>（以下「本事業」）を受注しました。

現在、尼崎市では2つの焼却施設（第1工場、第2工場）が稼働しており、し尿処理施設は第1工場の敷地内に併設、またリサイクル施設は第2工場の近傍に位置しています。

同市のごみ焼却量が減少していることや、施設の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、本事業では第1工場敷地内の既存施設を解体の上、これまで分散していた焼却施設・リサイクル施設・し尿処理施設を1棟に集約して整備し、2031年4月より20年間の運営を行います。新しい



尼崎市新ごみ処理施設 完成イメージ

施設では高温高圧ボイラなどの最新技術を導入し、ごみ発電において国内最高水準となる発電効率を実現。ごみから生まれるエネルギーを最大限に活用することで、CO<sub>2</sub>排出量の大幅な削減に貢献します。また、新施設の管理エリアはごみ処理施設として国内で初めて<sup>\*2</sup>となるZEB<sup>\*3</sup>認証を取得予定です。

当社は1938年に尼崎の地で創業し、長年にわたり同市を本拠としています。本事業を通じて安心・安全かつ効率的なごみ処理に寄与するとともに、CO<sub>2</sub>の排出量削減を徹底し同市のカーボンニュートラル早期実現に貢献することで、地域社会への恩返しをめざしてまいります。

※1：公共団体等が資金を調達し、民間事業者に施設の設計・建設・運営を委託する方式  
(Design：設計、Build：建設、Operate：運営)

※2：2024年7月9日時点、当社調べ

※3：省エネ・創エネにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスになる建築物（Net-Zero Energy Buildingの略称）



当社HPIにも情報を掲載していますので、  
こちらからアクセスしてください

## ごみ処理施設の基幹改良工事を受注（東京・新江東清掃工場） ～施設の長寿命化とCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献～

当社は、東京二十三区清掃一部事務組合より、新江東清掃工場（東京都江東区）の基幹的設備改良工事（以下「本工事」）を受注しました。

国内で稼働している約1,000のごみ処理施設<sup>\*1</sup>のうち、約8割が稼働後15年以上を経過しています。これを受け、ライフサイクルコスト<sup>\*2</sup>低減の観点から、耐用年数の長い建屋は維持したまま老朽化した設備を更新・改良することで、機能の回復と施設の長寿命化を図るとともに、省エネ技術の導入によりCO<sub>2</sub>排出量を削減する基幹改良工事の手法が環境省から推奨<sup>\*3</sup>されており、導入する自治体も増加しています。

新江東清掃工場は1998年9月に竣工した国内最大級のごみ処理施設です。稼働から25年以上が経過していることから、本工事では焼却炉（乾燥ストーカ）や集じん設備の部分更新など、通常の定期点検では実施が困難な作業を実施し、竣工後に約10年間の安定稼働を継続する計画です。また、蒸気タービンの部分更新による発電効率の向上や、施設内の電力使用量抑制により、CO<sub>2</sub>の排出量を現状比で6%以上削減できる見込みです。

当社は、ごみ処理施設で国内外約370件の建設実績と多数の運営実績に基づく、高度な熱利用技術や省エネ技術を有しており、お客様の様々なニーズに応じて最適なサービスを提供しています。今後もプラントの新設や基幹改良工事、また地域に寄り添った施設運営などを通じて安心・安全なごみ処理に寄与するとともに、ESG課題<sup>\*4</sup>で掲げる気候変動対策への貢献、資源・環境保全を図り、持続可能な社会の形成に取り組んでまいります。



新江東清掃工場

※1：令和6年3月28日付 環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等（令和4年度）について」

※2：施設の建設から稼働、廃止までに費やされる生涯費用の総計のこと

※3：令和3年3月改定 環境省「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き（ごみ焼却施設編）」

※4：当社のESGへの取り組みについて  
<https://www.takuma.co.jp/esg/>



当社HPにも情報を掲載していますので、  
こちらからアクセスしてください



# トピックス 脱炭素の取り組み／「ごっこランド」へ出店中

## 当社技術を用いた(株)サラでのCO<sub>2</sub>活用事例がTEPIA先端技術館に展示 ～バイオマス発電で発生する電気・熱・CO<sub>2</sub>を活用した野菜栽培～

当社のCO<sub>2</sub>有効活用技術を用いた株式会社サラでのCO<sub>2</sub>活用事例（トリジェネレーションによる野菜栽培）が、TEPIA（一般財団法人高度技術社会推進協会）の運営するTEPIA先端技術館に展示されました。展示期間は2025年度末までとなります。

本展示では、岡山県笠岡市で13haの半閉鎖型グリーンハウスで野菜の栽培・出荷を行う株式会社サラの取り組みと、その生産を支えるべく同社に納入したバイオマス発電プラントとCO<sub>2</sub>供給設備（名称：t-CarVe・ティーカーブ<sup>®</sup>）が取り上げられています。これらの設備では、バイオマス燃料を用いて発電した電力の一部をグリーンハウスに供給するとともに、回収した熱を野菜栽培に必要な暖房・除湿冷房用の熱源として利用するほか、燃焼ガスから精製したCO<sub>2</sub>を野菜栽培に活用する、電気・熱・CO<sub>2</sub>のトリジェネレーションを実現しています。



当社HPにも情報を掲載していますので、  
こちらからアクセスしてください

ニュースリリース  
(TEPIA先端技術館に展示)



笠岡市におけるバイオマス  
発電プラント建設・  
O&Mプロジェクト



## 子ども向け社会体験アプリ「ごっこランド」へ出店し ユーザーの皆様より温かいお言葉を頂戴しています

子どもたちを含む地域の皆様に、ごみ処理に関する理解を深めていただくとともに、ごみ処理施設をより身近に感じていただくため、2023年4月から株式会社キッズスターが提供する子ども向け社会体験アプリ『ごっこランド』に出店しています。出店前に比べ、子どもたちのごみ処理に関する知識や当社の知名度が高まったとの調査結果が出ています。

また、ゲームをプレイしたユーザーの未就学児・小学生、保護者の方々から、「ごみを集めて捨ててくれるから町が綺麗だと知った。このゲームで色々考えることができた」「ごみ処理について子どもが楽しくわかりやすく学べて助かっている」「タクマのことを知るきっかけになった。技術力を生かして新しい分野での活躍を期待する」など、温かいメッセージを頂いております。



メインビジュアル

引き続き、地域の皆様に喜んでいただけるよう、様々な取り組みを推進していきます。

当社HPおよびごっこランド公式HPには  
こちらからアクセスしてください

当社HP

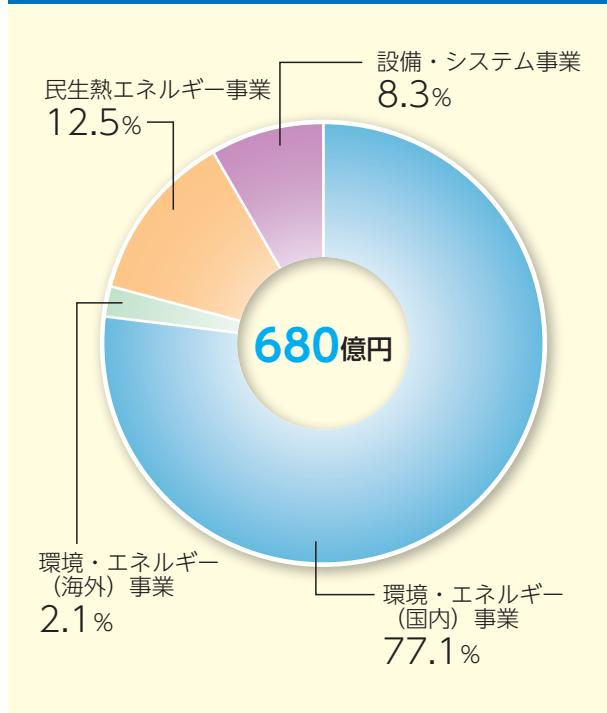


ごっこランド  
公式HP



# 事業の概況（上半期）

## 売上高構成比率（2024年度上半期）

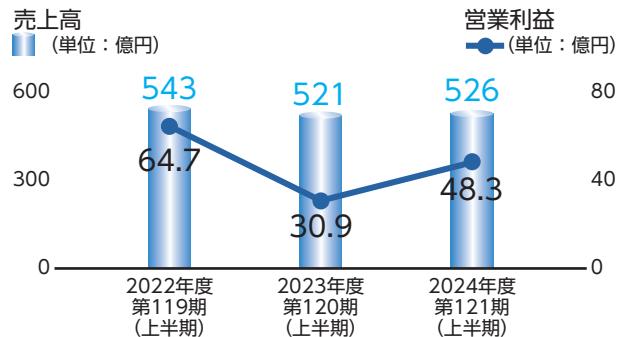


## 環境・エネルギー（国内）事業

自治体向けの一般廃棄物処理プラント、資源回収プラント、下水処理プラント、汚泥焼却プラント、民間向けの産業廃棄物処理プラント、バイオマス発電プラント等の設計、施工およびメンテナンスのほか廃棄物処理、電力小売を行っております。

売上高 **52,625** 百万円

営業利益 **4,838** 百万円



一般廃棄物処理プラント  
(泉北フリーンセンター)



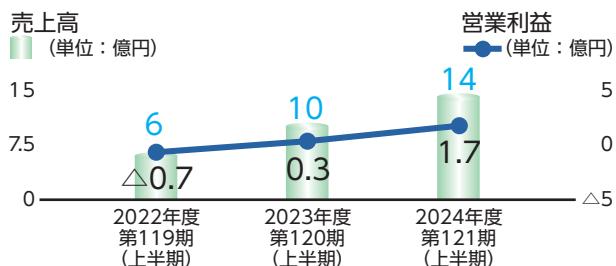
バイオマス発電プラント  
(株式会社日本海水TTS刈田パワー)

## 環境・エネルギー（海外）事業

廃棄物発電プラントや東南アジア向けのバガス（サトウキビの搾りかす）を燃料とするバイオマス発電ボイラの設計、施工およびメンテナンスを行っております。

売上高 **1,454** 百万円

営業利益 **177** 百万円

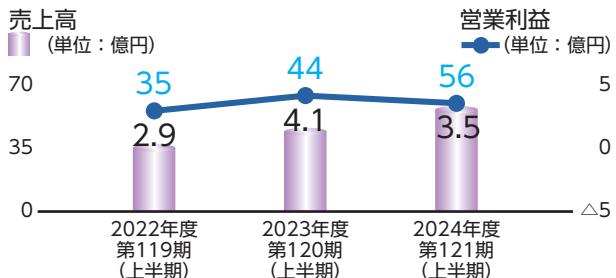


## 設備・システム事業

大学、研究所、病院向けの建築設備、空調設備や半導体産業向けのクリーンルーム、ケミカルエアフィルタ、洗浄・乾燥設備等の製造、販売を行っております。

売上高 **5,657** 百万円

営業利益 **358** 百万円

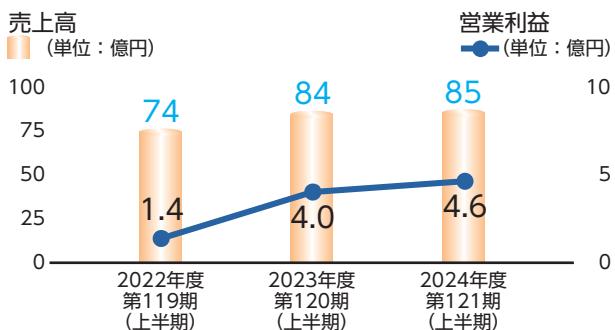


## 民生熱エネルギー事業

ホテル、旅館から工場まで幅広い分野で活躍する貫流ボイラ、真空式温水発生機や、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の製造、販売、メンテナンスを行っております。

売上高 **8,560** 百万円

営業利益 **463** 百万円



蒸気ボイラ  
エクオス シリズ  
EQi-6001型



水素焚 真空式温水発生機  
ゼロエミッション パコティンヒーター  
GTL-300ZE型

# 会社概要 (2024年9月30日現在)

**設立** 1938年6月10日  
**資本金** 13,367百万円  
**本社の所在地** 〒660-0806  
兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号  
TEL 06-6483-2609

## 事業所

**大阪事務所** 〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番26号 (JMFビル大阪福島01)  
TEL 06-7670-6110  
**東京支社** 〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目9番1号 (芝浦ルネサイトタワー)  
TEL 03-5730-9200  
**北海道支店** 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地 (大五ビル)  
TEL 011-221-4106  
**東北支店** 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目1番2号 (NMF仙台青葉通りビル)  
TEL 022-222-3042

**中部支店** 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目22番8号 (大東海ビル)  
TEL 052-571-5211  
**九州支店** 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目1番1号 (薬院ビジネスガーデン)  
TEL 092-717-2828  
**播磨工場** 〒676-0008 兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号  
TEL 079-443-6511  
**台北支店** 台湾台北市114-92内湖區基湖路35巷16号7樓A1  
TEL +886-2-8752-3838

# グループ会社 (2024年9月30日現在)

## 国内

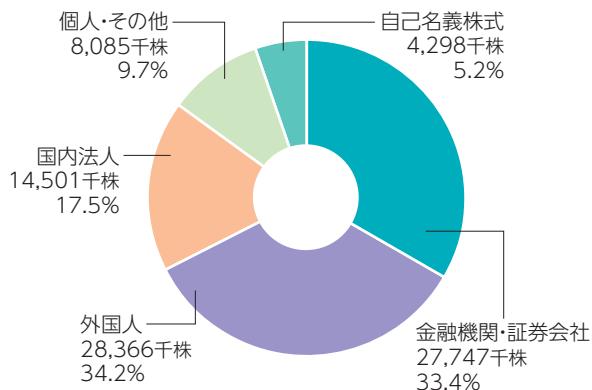
株式会社日本サーモエナジー  
各種ボイラ及び関連機器の製造・販売  
株式会社タクマテクノス  
環境施設等の維持管理運営及びボイラ、環境設備等の設計・施工及び監理  
株式会社北海道サニタリー・メンテナンス  
下水処理施設等の維持管理運営  
株式会社タクマテクノス北海道  
ごみ処理施設等の維持管理運営  
株式会社サンプラント  
空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工及び監理  
タクマ・エンジニアリング株式会社  
環境設備プラント、エネルギープラント等の設計  
タクマシステムコントロール株式会社  
環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計  
株式会社ダン・タクマ  
グリーン機器、ケミカルエアフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置等の製造、販売  
株式会社環境ソルテック  
水質、排気ガス、土壌汚染等、環境問題関連の分析、計量事業  
協立設備株式会社  
環境施設・機械設備、産業用ボイラ設備等の設計・施工及び監理  
株式会社タクマプラント  
各種ボイラ、環境設備等のメンテナンス業務  
いわて県北クリーン株式会社  
一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業務  
エナジーメイト株式会社  
コージェネ関連システム販売、民生用オンサイト型エネルギーシステムの一括サービス  
株式会社アイメット  
人材派遣業、保険事業

株式会社タクマエナジー  
電力小売事業  
長泉ハイトラスト株式会社  
一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営及び維持管理  
藤沢ハイトラスト株式会社  
ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社  
阿南ハイトラスト株式会社  
くるめハイトラスト株式会社  
ほくたんハイトラスト株式会社  
諏訪湖ハイトラスト株式会社  
今治ハイトラスト株式会社  
町田ハイトラスト株式会社  
函館ハイトラスト株式会社  
住之江ハイトラスト株式会社  
西知多ハイトラスト株式会社  
かしはらハイトラスト株式会社  
うわじまハイトラスト株式会社  
隠岐の島ハイトラスト株式会社  
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理  
株式会社テクノリンクス  
環境リサイクル装置の設計・製作・販売及び保守・点検  
栃木ハイトラスト株式会社  
産業廃棄物の処理業務  
株式会社エコス米沢  
産業廃棄物の最終処分業務  
**海外**  
臺田環工股份有限公司 (台湾)  
ごみ処理施設等のメンテナンス業務  
SIAM TAKUMA Co., Ltd. (タイ)  
エネルギー及び環境関連プラントの販売及びアフターサービス

# 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	321,840,000株
発行済の株式総数	83,000,000株
株主総数	6,438名

## 所有者別分布状況



## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9,938	12.6
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	3,618	4.6
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,462	4.4
光通信株式会社	3,078	3.9
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/25/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	2,936	3.7
日本生命保険相互会社	2,515	3.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,282	2.9
タクマ共栄会	2,077	2.6
株式会社三井住友銀行	1,459	1.9
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	1,435	1.8

(注) 1. 当社は2024年9月30日現在、自己株式4,298千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式4,298千株を控除して計算しております。

## 【単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内】

### 単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格で株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。

例) 25株ご所有の株主様 → 75株を買増しして、100株にすることができます。

### 単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。

例) 25株ご所有の株主様 → 25株を当社に売却することができます。

※ご希望の株主様は、次頁の株主メモ欄に記載の特別口座管理機関へお申し出ください。なお、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社等へお申し出ください。

## 情報満載！ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。株主・投資家の皆様に見ていただきたい情報を充実させておりますので、ぜひアクセスしてください。

<https://www.takuma.co.jp/>



株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (株式に関する諸手続きのお問い合わせ)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお問い合わせ	TEL 0120-524-324 (電子提供制度専用ダイヤル)
公告方法	電子公告 (当社のホームページに掲載) ( <a href="https://www.takuma.co.jp/">https://www.takuma.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 (証券コード: 6013)
単元株式数	100株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更・買取請求その他お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (みずほ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本支店でお支払いいたします。
3. 証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関にお問い合わせください。

**TAKUMA**  
株式会社 タクマ

